

カイカムリのカムフラージュ

カイカムリの仲間はカイメンやホヤを背負って姿を隠します。
そのため、脚のつくりが他のカニと異なります。

カイカムリの仲間は、カイメンやホヤを背負って生活しています。「貝かむり」という名前のおり、貝殻を背負っている種類も知られています。

カイメンなどを背負うことによって周りの風景にとけこみ、天敵に見つかりにくくなると考えられています。

多くのカニでは、歩脚の先が鋭くとがっています。これは、岩場などを歩き回るのに便利だからです。しかし、カイカムリ類の第3・第4歩脚は他のカニと異なり、脚のつけねが背中側に回っていて、脚の先がハサミ状になっています。これによってカイメンや貝をつかむことができるのです。

カイカムリ類が背負っているカイメンやホヤにはくぼみがあり、背中にぴったり合うようになっています。自分の背中にあうように加工してから使っているのか、あるいは背負っているうちにカイメンが背中に合うように成長したのかもしれません。



カイカムリ

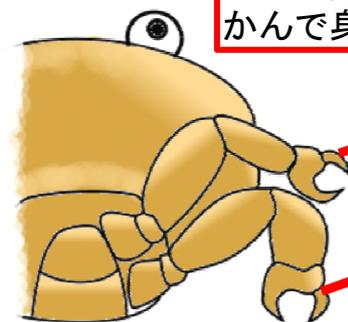


オオカイカムリ



カイメンを背負ったカイカムリ

背中側から見ると、ハサミ状に変化した歩脚が見える。これで、貝殻やカイメンをつかんで身を隠している。



第4歩脚

第3歩脚